

キャラクター名 曲輪 遊 (くるわ ゆう)	プレイヤー名
--------------------------	--------

シンドローム	ブラム=ストーカー ブラム=ストーカー	ワークス	ヒーローD	カヴァー	ヒーロー
オプション		年齢	16	性別	♀
覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	43 %
出自	天涯孤独	経験	永劫の別れ	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2		0			2	行動値	9
感覚	4		0			4	(非装備時)	10
精神	2		0			2	戦闘移動	15
社会	0	1	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ヒーロー	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
従者(EffLv1)演技「血と剣」	RC	2r+1	1			(10+{侵蝕d})dx7 ATK2 紅の刃
従者(EffLv2)演技「血と剣」	RC	2r+1	1			(10+{侵蝕d})dx7 ATK3 紅の刃
従者(EffLv2)演技「血と剣」	RC	2r+1	4			(10+{侵蝕d})dx7 ATK27 紅の刃+ブラッドバーン
従者(EffLv1)演技「花火」	RC	2r+1	5			(10+{侵蝕d})dx7 ATK27 紅の刃+自爆

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
メイジジャケット		5		-1	交渉orRCを組み合わせたコストを-1

所持品		合計装甲:	5	合計回避:	0
ヒーローズクロス					
メモリー					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
黄昏の支配者	P	N			
イスカリオテ	P 好奇心	N 憎悪			
両親	P 懐旧	N 恐怖			
	P 友情	N 憐憫			
	P 信頼	N 無関心			
	P 執着	N 不信感			
	P 憧憬	N 恐怖			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンソレイト	3	2	Xジャー			シンドローム		
効果:								
赤色の従者	2	5	Xジャー			自動		
効果:	HPがLv5+10の、1シーンに1体まで従者を作れる							
従者の行進	3	5	セットアップ			自動		
効果:	Lv回まで未行動の従者を作る							
声なき子ども	5							
効果:	基本値+7。従者の作成上限を+Lv							
赤河の従僕	7		常時					
効果:	基本値+3。従者の全能力を+Lv							
闇夜の呪い	5	2	Xジャー	至近	範囲	RC	従者	
効果:	+Lv5の射撃攻撃。使用后HPが0に							
血の絆	2	3						
効果:	Lv回まで従者がシナリオ終了時まで消えない							
ブラッドバーン	5	4	Xジャー			シンドローム	80	
効果:	ダメージ+[Lv4]。メインプロセス終了時、HPを5点失う							
紅の刃	1	1	Xジャー	視界		RC		
効果:	Lv+1の射撃ダメージ							
コウモリの羽	1		常時				従者	
効果:	従者が飛行を得る。基本値+3							
愚者の軍団	1	5	Xジャー	至近	自身	自動	100	
効果:	作り出す従者の数を+LV体							
カバディフェンス	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	1メインに1回、1シナリオにLV回かばう							
裸の王様	★							
効果:	常に10人のドールに従者神輿させてる							

口調「ええ」「～ですね」「かまわないわ」という高貴系キャラ

曲輪遊とはある輸入家具商人の屋敷で生を受けた。大きな家で不在がちな両親の代わりに彼女の幼年期を支えたのは、父が土産に買ってくる人形たちであった。それは、彼女のオーヴァードとしての才能が人形を動かすことに向いていたからかもしれない。彼女は自身の血液を人形の核にすることで、彼らを生きているかのように動かし、いつしか彼女はそれらを大切な友人として扱うようになる。

転機があったのは6才のころ、両親が帰ってくるイベントであるクリスマスイブの夜に起こった。燃え落ちる家。炎に包まれる両親。彼女を隠した両親は、彼女が見ている前で何者かによって惨殺されてしまった。やがて日に巻かれて意識を失った遊は朦朧とする意識の中、無意識で人形を操作。彼女にはそれはまるで人形が自らの命を犠牲にして自分を助けてくれたように見えた。

この時のつらい記憶は彼女の中で封印されたが、記憶の影が彼女のブラムストーカーの姿に無意識に投影されている。大事な人形が自分を助けるために全て燃えたこと、両親が死んだこと、自分だけが生き残ったこと。

